

## 〈書 評〉

---

### 最新の福祉制度を幅広く網羅したガイドブック

医療福祉相談ガイドブック（医療福祉相談研究会編集）

二木 立（日本福祉大学）

医療施設でのリハビリテーションにおいても、障害者の「全人間的復権」を実現するためには、医学的アプローチに加えて、社会資源を有効に活用することが不可欠である。しかし、社会福祉の法・行政は、制度が入り組んでいたり、戦後次々に積み重ねられてきたために、非常に分かりにくく、せっかくの制度が十分に利用されていない。このような現状を克服するために編集されたのが本書である。

タイトルは「医療福祉相談ガイ

ド」であるが、内容的には、①医療福祉問題だけでなく、②家族の福祉、③子供の問題、④身体障害・難病、⑤精神障害、⑥精神薄弱、⑦老人問題、に至るまで福祉の全分野が幅広く網羅されている。更に、巻末には、資料として、さまざまな相談の窓口、患者団体や障害者団体の一覧、各種社会福祉施設・機関一覧等がまとめられている。

本書の執筆者の多くは、医療・福祉機関の第一線で働くソーシャル・ワーカーのため、単に法律や

制度の紹介や解釈にとどまることなく、それを利用する人々にとっても本当の意味で有効であるように、一問一答形式で、分かりやすく書かれているのが特徴である。また、この種の本としては珍しく、索引も充実しているので、利用しやすい。数ある社会福祉ガイドブックの中でも、決定版と言えよう。

本書のもう一つの特徴は、今後の法制度の変化に対応できるように加除式になっていることである。ただし、それだけに、安くはない。施設単位で常置すべき本と言えよう。

（A 5，頁 7330，1988，¥12,000，中央法規 刊）